令和6年9月定例県議会
教育警察常任委員会説明資料

(その他報告事項)

教育委員会

次期教育大綱及び次期教育振興基本計画の策定について

教育政策課

1 教育大綱及び教育振興基本計画の性格について

【教育大綱】

教育大綱は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に基づき、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱（以下「大綱」という。）であり、総合教育会議において知事と教育委員が協議のうえ、知事が定めるもの。

【教育振興基本計画】

教育振興基本計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づき策定する、本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画であり、県が定めるもの。

2 大綱、計画の現状と今後の進め方について

【教育大綱】

- ・現大綱は、平成29年4月に策定し、令和3年3月に改定。
- ・現大綱に期間の定めはないが、知事が定めるものであり、「くまもと新時代共創基本方針」等との整合を取る必要があることから、新たに教育大綱を定める必要がある。

【教育振興基本計画】

- ・第3期計画の「第3期くまもと『夢への架け橋』教育プラン」は、計画期間が令和2年度から令和5年度であり、新たに第4期計画を策定する必要がある。
- ・第4期計画の策定に向けて、外部有識者会議（第4期熊本県教育振興基本計画検討・推進委員会）を設置。これまでに4回開催し、意見を聴取している。

大綱や計画の策定に当たっては、県基本方針や県総合戦略との整合を取りながら進める必要がある、年内の策定を目指し以下のスケジュールを想定している。

今後のスケジュール

- R6.9.30(月) ・ 9月議会教育警察常任委員会において、案を報告
- R6.10月 ・ 計画について、パブリックコメント、子供からの意見聴取（アンケート調査）実施
- ・ 大綱について、総合教育会議において知事と教育委員で協議
- R6.12月 ・ 12月議会教育警察常任委員会において、最終案を報告
- ・ 策定

「くまもと新時代教育大綱」及び「第4期熊本県教育振興基本計画」の策定について

くまもと新時代共創基本方針

<基本理念>

県民みんなが安心して笑顔になり、持続的で活力あふれる熊本の未来をともに創る
～世界に開かれた熊本、世界へ羽ばたく熊本～

<取組みの基本的方向性>

- 1 こどもたちが笑顔で育つ熊本
- 2 世界に開かれた活力あふれる熊本
- 3 いつまでも続く豊かな熊本
- 4 県民の命、健康、安全・安心を守る

くまもと新時代共創総合戦略

- ① こどもたちが笑顔で育つ熊本
施策3 質の高い教育・未来を担う人材の育成
- ② 世界に開かれた活力あふれる熊本
施策1 「くまもとで働く」人材の確保・育成
施策4 スポーツ、観光、文化芸術の振興

※総合戦略の施策のうち、
教育、文化、スポーツ等の
関係施策・取組みを明記

くまもと新時代教育大綱(案)

- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、本県の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策について、知事が定める。
- 総合教育会議の場で、知事と教育委員による協議を行う。
※蒲島県政では、任期にあわせ「熊本県教育大綱」を改定

第4期熊本県教育振興基本計画(案) R6～R9

- 教育基本法に基づき策定する、本県における教育の振興のための施策に関する基本的な計画
- 教育委員会、知事部局、警察本部が所管する教育・文化・スポーツ等の施策が対象

<基本理念> 自らの可能性を拓げ、未来を切り拓く 熊本の人づくり

- #### <基本目標>
- ① 変化の激しい時代に対応した質の高い教育の推進
 - ② 共生社会の実現に向けた教育の充実
 - ③ 世界に羽ばたく志ある人材を育てる魅力的な学校づくり
 - ④ 活力あふれる熊本の実現に向けた文化・スポーツの振興
 - ⑤ 災害からの復旧・復興及び記憶の伝承、『こどもまんなか』視点での教育施策の推進

<5つの基本目標の達成に向け、10の基本的方向性を定める>

- ① 変化の激しい時代に対応した質の高い教育の推進
基本的方向性1 家庭・地域の教育力向上
基本的方向性2 安全・安心に過ごせる学校づくり
基本的方向性3 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
- ② 共生社会の実現に向けた教育の充実
基本的方向性4 障がいや多様な教育的ニーズに応える
- ③ 世界に羽ばたく志ある人材を育てる魅力的な学校づくり
基本的方向性5 キャリア教育の充実、グローバル人材の育成
基本的方向性6 魅力ある学校づくり
基本的方向性7 子供たちの学びを支える環境づくり
- ④ 活力あふれる熊本の実現に向けた文化・スポーツを振興
基本的方向性8 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
- ⑤ 災害からの復旧・復興及び記憶の伝承、『こどもまんなか』視点での教育施策の推進
基本的方向性9 災害からの復旧・復興
基本的方向性10 子供からの意見聴取・対話

<基本的方向性ごとの具体的な取組内容と主な施策を記載>

- 基本的方向性1 家庭・地域の教育力向上
・家庭及び地域の教育力の向上 ・就学前教育の充実
- 基本的方向性2 安全・安心に過ごせる学校づくり
・人権教育 ・いじめ対策 ・不登校対策 ・学校の防災、安全対策
- 基本的方向性3 確かな学力、豊かな心、健やかな体の育成
・学力、道徳性、体力の向上 ・水保病問題等を通じた環境教育等の推進
- 基本的方向性4 障がいや多様な教育的ニーズに応える
・特別支援教育の充実と支援学校の整備 ・多様なニーズへの対応
- 基本的方向性5 キャリア教育の充実、グローバル人材の育成
・キャリア教育の充実 ・外国語、国際教育の充実
・郷土愛の醸成 ・高等教育との連携
- 基本的方向性6 魅力ある学校づくり
・県立高校の魅力化推進 ・才能や個性を伸ばす教育
・地域との連携 ・私立学校の振興
- 基本的方向性7 子供たちの学びを支える環境づくり
・教育における経済的支援 ・教職員の確保、育成 ・働き方改革
・教育DX ・学校施設の整備
- 基本的方向性8 文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
・文化振興 ・スポーツ振興 ・学習機会等の充実
- 基本的方向性9 災害からの復旧・復興
・文化財の復旧 ・心のケアの継続 ・後世への伝承
- 基本的方向性10 子供からの意見聴取・対話

第3期熊本県スポーツ推進計画の策定について

体育保健課

1 熊本県スポーツ推進計画の性格について

平成23年に国において制定されたスポーツ基本法第10条に基づき策定するものであり、本県の実情に即したスポーツの推進に関する計画を県教育委員会が定めるもの。

2 熊本県スポーツ推進計画の現状について

- ・第2期の計画期間が令和元年度から令和5年度であり、新たに第3期計画を策定する必要がある。
- ・第3期計画の策定に向けて、これまで熊本県スポーツ推進審議会を3回開催し、意見を聴取してきた。

3 熊本県スポーツ推進計画の今後の進め方について

- ・熊本県スポーツ推進計画の策定にあたっては、県の教育プラン等との整合を図りながら、年内の策定を目指し、以下のスケジュールを想定している。

今後のスケジュール

R6.9.30(月)・9月議会教育警察常任委員会において、素案を報告

- ・市町村に対して計画(素案)の周知

R6.10月　・計画について、広く県民の意見を聴取するため、パブリックコメントを実施

R6.12月　・12月議会教育警察常任委員会において最終報告
・策定

第3期熊本県スポーツ推進計画の策定について

1 計画策定の趣旨

本計画は、本県のスポーツ推進に関する総合的かつ計画的な推進を図ることを目的として策定。県民がライフステージや興味・関心、目的、適性等に応じて、生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツを通じた地域活性化、健康の保持増進による健康長寿社会の実現、経済発展、国際競技力の向上に寄与するための計画。

2 関連計画等

		H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
国	法	スポーツ基本法（H23～）											
	計画	第2期スポーツ基本計画					第3期スポーツ基本計画					次期計画	
県	県スポーツ推進計画	熊本県スポーツ推進計画（H26～H30）		第2期熊本県スポーツ推進計画（R1～R5）					第3期熊本県スポーツ推進計画（R6～R10）				

3 基本施策

国の「第3期スポーツ基本計画」の新たな「3つの視点」
 スポーツを「つくる/はぐくむ」・スポーツで「あつまり、ともにつなぐ」・スポーツに「誰もがアクセス」できる

【熊本県第3期スポーツ推進計画】

<基本理念> スポーツによる人が輝く豊かなくまもとづくり

- <基本施策>
- 1 「誰もが親しめる生涯スポーツの推進」
 - 2 「県民スポーツをささえる環境づくりの推進」
 - 3 「スポーツで県民に夢と感動を与える競技力の向上」
 - 4 「スポーツによる地域の活性化」

【基本施策1】 「誰もが親しめる生涯スポーツの推進」

- (1) 児童生徒のスポーツ活動を充実させることによる運動習慣の確立
- (2) 成人のスポーツ活動の推進
- (3) 高齢者のスポーツ活動の推進
- (4) 障がい者のスポーツ活動の推進
- (5) 多様なスポーツの機会の創出

【基本施策2】 「県民スポーツをささえる環境づくりの推進」

- (1) スポーツ施設の整備と支援体制の充実
- (2) 総合型地域スポーツクラブの充実
- (3) 行政組織の連携とスポーツ関係団体との協働
- (4) スポーツ団体のガバナンス改革
- (5) スポーツを支える人材の育成

【基本施策3】 「スポーツで県民に夢と感動を与える競技力の向上」

- (1) アスリートの育成・強化
- (2) アスリート育成パスウェイの構築
- (3) 競技スポーツの普及と競技力向上のための環境整備

【基本施策4】 「スポーツによる地域の活性化」

- (1) スポーツツーリズムによる交流人口の拡大
- (2) スポーツ情報の発信